

新年明けましておめでとうございます。昨年から引き続きコロナ対策をしっかりと忘れずにお正月を元気で迎えることが出来ました。北海道神宮へ人出の少ないタイミングを見計らい、初詣に行きコロナ撲滅を心の内で願いました。

話は変わりまして札幌の繁華街すすきのの皆様ご存知かと思ひます。そこから徒歩10分弱にある札幌市民大人気のサンドイッチ屋をご紹介します。こちら『Sandia(サンドリア)』と言ひましてテイクアウト専門でなんと24時間営業です。常に40種類のサンドイッチを販売しています。種類豊富でお値段もリーズナブルで24時間営業しているとはほんとビックリでした。24時間営業の理由は、すすきので働いている飲食店やクラブの人達が遅い時間でも買えるように元飲み屋の従業員が始めたとの噂で真実は分からないそうです。今回私は一番人気のダブルエッグサンド・エビマヨサンド・イチゴフルーツサンド3点を翌朝屋兼用で購入。見た目、味、価格言う事なし。これで合計770円は驚きです。このお店を知って2ヶ月程ですがすでに4回も通ってしまいました。

札幌に来られた際にはぜひお勧めしますので一度寄ってみて下さい。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

明けましておめでとうございます。さて、令和3年第1回目の投稿は、当営業本部が所在する千葉県船橋市について、ご紹介しします。まず、東京都からは浦安市もしくは隣の市川市を越えた所となり、船橋越えると千葉市となります。人口約64万人で、政令指定都市や東京都内の特別区を除く中核市では日本一の都市だそうです。ちなみに千葉県の総人口は約620万人、千葉市の約98万人に次ぐ県内第2位の人口数です。また、最近のコロナ陽性累計感染者数は、千葉県でおおよそ2万人、船橋市では累計おおよそ2600人となっています。千葉県も緊急事態宣言対象区域となり、今後も予断を許さない状況です。

話は変わりますが、船橋市は住みたい街ランキング(首都圏)で総合9位と堂々たるもので、県内では堂々1位。大型商業施設も充実し住環境が良く、なにより都心へ20~30分のアクセスと通勤ストレスも低いなどが理由として選ばれたようです。ただこれだけの人気エリアですので通勤時間帯の人の多さは嫌気がさすほどです。(今はコロナ禍ですので避けています)ちなみに総合1位は横浜、2位が吉祥寺、3位が大宮・浦和となっています。

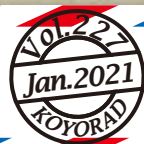
ここ船橋には大きなお宮がありますので、結びにそちらをご紹介します。本年最初の投稿を締めたいと思ひます。その名も通称『船橋大神宮』、正式名を意富比神社(おおひじんじや)と呼び、1900年の歴史を持ち、船橋最古の神社で、なおかつ船橋市民に長く愛されている神社です。こちらで心から無病息災を祈念いたしました。本年もどうぞよろしく願ひいたします。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から

-From the base in the world-



あけましておめでとうございます。2020年はコロナの話題で1年が終わりましたね。

さて12月20日、大阪舞洲で『昭和レトロカー万博』がありました。ここは広い屋外スペースで3密の心配は少なく、入場の際は検温もする為、大規模ですが感染リスクの少ないイベントとして大勢の来場者がありました。KOYORADもスカイラインGC10ラジエーターを飾り、出展していました。

会場内は私の想像よりクルマの量が多く、約400台展示されていました。名前の通り昭和の乗用車がメインですが、中にはトラックも・FUSO T610やマツダ3輪なども公道ではほとんど見られないトラックもありました。国産乗用車はフェアレディZやハコスカ、ケンメリGT-Rだけでなく、パブリカやグロリア、セドリック230、TE61スプリンタークーペ、トヨタGTなど久しぶりに現車を見る事ができました。また、外車も多く、BMW2002やアルファロメオからバック・トゥ・ザ・フューチャーで有名なデロリアン。びっくりしたのは世界でも数台しかないランボルギーニ・イオタも見ることができました。

私にとっても、幼小期に父が乗っていたクルマを何台も見かけ、非常に懐かしく感じました。たまには古き良き時代を振り返るのも良いものですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

本年も宜しく願ひ致します。

今回は、三重県にある『おやつタウン』を紹介いたします。三重県津市に本社を置くおやつカンパニーの久居工場となりあるテーマパークがおやつタウンです。おやつカンパニーと聞いてもピンとこない方もいらっしゃると思いますが、皆さんよくご存じの『ベビースターラーメン』を作っている会社です。

おやつタウン内には、おやつ広場というおやつカンパニーキャラクターを使った子供向けアスレチックやスライダーなどの遊具施設、オリジナルのベビースターラーメンを作れるキッチン、ベビースターラーメンを使ったオリジナルメニューが食べられるダイニングなどがあります。

また久居工場で製造工程の工場見学もできるよう。遊具で遊んだり、工場見学の後は、『おやつマルシェ』という物販エリアがあり、そこでお土産を購入したりできます(ここにしかない限定商品もあるようです)。

コロナ禍で時期によっては休業の場合もあるようですが、大人も懐かしさを感じながら楽しめるのではないのでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

旧年中はコロナウイルスの影響の中、皆様よりたくさんのご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。福岡営業所員一同、力を合わせて信頼のお応えできるよう努めてまいります。本年もこれまで同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

さて先日、『福岡の湘南』と呼ばれる糸島市へ行ってきました。ここ糸島市のグルメといえば『カキ小屋のカキ』ですが、実はパン屋さんの激戦区なんです。今回はその中でも508万個も売れた牛すじカレーパンで有名な『石窯パン工房 童夢の森』をご紹介します。かなり有名ですぐに売り切れるということで、早起きし早々に糸島へ…。現地に9:00に到着。意気揚々と店舗に入ったところ、休日の朝ということもあり、お店の中は結構な賑わい。牛すじカレーパンが積まれているのを確認し、他の美味しそうなパンを物色。今話題の〇次郎似顔絵パンや明太フランス、他にも色々トレーに乗せて「いざカレーパン！」と積まれていた場所へ移動すると、カレーパンが全て忽然と消えているではありませんか!!(汗)。慌てて周囲のお客さんを見ると、トレーにはたくさんのカレーパンが…。(泣)。店員さんに確認すると、焼き上がりに20分はかかるとのこと。泣く泣くお店を後にしました(号泣)。

この後は何店かのパン屋でパンを、糸島の道の駅『伊都菜彩(いとさいさい)』で新鮮な地元野菜を買って帰りました。ちょっとしたハプニングはありましたが、ドライブ、観光、食事と全て楽しめるスポットです。福岡へお越しの際は是非お立ち寄りください。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアでは最近雨がよく降っています。地域によっては洪水の被害が出始めています。ジャカルタではまだ洪水による被害は出ていません。こちらの雨は、短時間にたくさんの雨と雷と一緒に降ります。

ジャカルタではオートバイを運転している人が結構たくさんいます。その人々は、雨と雷が降るとちょっと怖いので、どこかに雨宿りします。場合によっては橋の下で雨が収まるまで待つこともあります。

もちろんそれにより、橋の下にオートバイの集まりができ、渋滞になります。それよりこの人の集まりがコロナ感染拡大に繋がっていることに間違いはないです。インドネシアのコロナ感染状況は下がることなく増える一方で、最近では一日1万人以上の感染者を出しています。雨期を迎え、今のような人の集まりができやすい状況はあちこちであり、当分は増えると言われています。インドネシア政府は感染者数を減少させるべく、色々努力はしているようですが結果は望ましくありません。去年の3月からずっと感染者数が減らず、最近インドネシアでは『コロナ疲れ』という表現を言い続けています。

そのため政府は時間との戦いのような感じで、新しい対策をやり始めました。ただこれで感染が収まるかどうかは疑問です。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～危うく首をはねられる?～

赤い牛、赤い提灯、赤い魚、唐辛子などなど中国での新年の飾りは赤色で賑やかに彩られます。2021年が始まりましたが、中国では春節(旧正月)が一年で最も重要で人々が待ち望む祝日です。

今年は2月12日が旧暦の元旦にあたります。春節を控えた時期、スーパーには赤一色で新年用お飾りの特設売り場が登場します。『春』や『富』、『喜』、『寿』などが縁起の良い文字として飾られますが、一番よく見かけるのは『福』の飾り文字です。中国ではよく上下逆さまに飾られたものを見かけます。なぜ逆さまに?『倒れる』の『倒』と『到来』の『到』の発音が同じであり、福が倒れて、福が到来というおめでたい語呂合わせという説がおなじみです。日本のお節料理でも昆布巻きは『よろこぶ』、黒豆は『まめで健康』に意味を重ねる解釈と似ているかも知れません。古くは宋の時代に福の字を貼るように命ぜられた家来が字を読めず逆さまに貼ってしまったところ、主人の怒りを買って、危うく首をはねられそうなところを、『福が逆さま、これは福が来るということではありませんか』と命拾いをしたという面白い説もあつたりします。

上向きでも下向きでもきつと効果は同じだと思いますが、皆さまにとってたくさんの『福』がとどく一年であることを願っております。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2020年は言うまでもなくコロナ禍で世界中が今まで経験もした事がない状況でした。ワクチンの接種が始まりましたが、終息にはまだしばらく時間がかかりそうです。

アメリカはご存知の通り感染者数、死者数ともに世界最悪で、サンクスギビング、クリスマス、ニューイヤーと続いたホリデーにより状況も更に悪化しています。また感染力の高い変異種の感染も発見されていて今後の状況が非常に心配です。

そんな中、年末年始はステイホームにて家の中で過ごす事になりました。新年祝賀行事の1つとして行われるカレッジフットボールのローズボウル前に行われるパレードが今年は中止となりました。例年何十万もの人々が沿道で観覧し、日本からも多数参加されていましたが、

残念ながら今年は見ることができませんでした。試合の方はテキサス州にあるスタジアムにて行われました。ローズボウルがカリフォルニアで行われないのは第二次世界大戦以来の事のようにです。

今となっては数少ない娯楽の一つのスポーツ観戦ですが、幸いにも無観客或いは相当の人数制限しながら何とか続いています。NFLも先日レギュラーシーズンを終え、いよいよプレーオフになります。入場が制限される為、今年はいつもの年と違いホームコート・アドバンテージの効果もあまりなく異様な雰囲気の中でも開催となります。注目は今シーズンよりペイトリオッツより移籍したコーターバック率いるタンパベイとAFCでは優勝候補筆頭の昨年の覇者カンサスシティです。順当に勝ち進むのか或いは番狂わせがあるのか見ものです。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

明けましておめでとうございます。ビジネスが円滑に進むことを願っています。

今回のコロナは依然として大きな問題で、世界中で新年会はあまり見られません。コロナに打ち勝つにはもう少し時間がかかりそうなので、皆様が日常生活を大切に、常に健康でいられることを願っています。

シンガポールの象徴であるマーライオンのライトアップは、昨年のクリスマスから正月までの期間で導入され、夕方から15分間隔で行われました。像はマリーナベイサンズが正面に見える場所があるので、とてもいい場所です。たくさんの照明でライトアップされ、ショー中、色が変化し続けるのを見ることができます。15分ごとにショーが行われるため、頻繁に見ることができ、人だかりを分散させるのに役立ちます。ソーシャルディスタンスを十分に確保でき、15分間隔で行うというのは良い判断でした。

～大晦日のオランダ～

コロナウイルスにより大勢で集まることを防ぐために花火大会も一部禁止されました。目的だった医療負担の軽減は達成され、その意味で花火禁止は『プラス効果』をもたらしています。ですが、常に成功しているわけではありません。

オランダ警察協会によると、年の変わり目は前年のような『戦い』はありませんでした。しかし、その前後では花火や違法なパーティー、放火、発砲などで様々な場所に出動しなければならず、驚くべき数の自動車火災がありました。消防隊は車の消火に忙しく、安全地域でも、これまでよりも多くの自動車火災が発生したとのこと。いくつかの地域では、消防士が違法な花火や銃で攻撃されたり、救急隊は暴言や、機器損傷に直面したりしました。

完全な静寂が訪れるとは期待していませんでしたが、花火禁止がこれほど無視されるとは思いませんでした。もちろん、花火が打ち上げられることは事前に明らかでした。禁止の有無に関わらず、多くの人が自己判断します。ですので、厳しく守らせることに失敗した政府でも予測できました。年の変わり目に多くの人が混乱するのは明らかで、決定的な行動が必要でした。多くの『闘争地域』でその変化が必要ですが、救護隊員が攻撃されるというのは悲しすぎます。悲しいことに、ほとんどがこの危機から抜け出すことに貢献したくない若者たちです。

ワクチンの結果が次の2022年に何をもちたらずか見守ってまいります。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)